



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月4日

上場会社名 カーディナル株式会社  
 コード番号 7855 URL <https://www.cardinal.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6934-4141

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	204	29.9	25		22		15	
2020年3月期第1四半期	291	4.4	4	62.6	8	50.9	0	93.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	7.79	
2020年3月期第1四半期	0.36	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	2,882	2,299	79.8	1,129.48
2020年3月期	2,966	2,322	78.3	1,140.96

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 2,299百万円 2020年3月期 2,322百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		7.00	14.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	2,143,000 株	2020年3月期	2,143,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	107,245 株	2020年3月期	107,245 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	2,035,755 株	2020年3月期1Q	2,035,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症による影響が見込まれることから、現段階において業績予想の算定は困難であります。  
従いまして、2021年3月期の業績予想は未定とさせていただき、合理的な予想が可能となった段階で改めて開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、個人消費及び企業収益の急速な減少に加え、雇用情勢の弱さも増したことにより、景気は悪化しており極めて厳しい状況となっております。

当社は幅広い業種の全国の顧客が利用するカードを製造しており、それらは全国の販売代理店から受注しております。当社が製造しているカードの殆どが顧客が携帯して利用するカードで、また消耗品であり、かつ日本国内を市場としており、人や物の動向、景気の変動、個人消費のマインドの低下、人口減少などの影響を受けます。新型コロナウイルス感染症の影響により消費の減退が見込まれ、影響が強く懸念される状況に変化はありません。

このような状況下において当社は営業部門では安定的な収益を確保するためには販売代理店の確保が重要課題であるとの認識のもと、印刷関連の展示会は元より販売促進関連の展示会への出展はコロナ禍の折、イベントの自粛要請もあり中止となりましたが、ダイレクトメールやメールなどにより新規販売代理店の確保を推進し、既存の販売代理店に対しては、当社開発の受注管理システム「GRIP経営ナビ」を使って過去の受注履歴を抽出し、電話・ファックス・メール等でリピートの案内で促進いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今までにない仕事の在り方、生活形態の変化が問われるコロナ禍の折、インターネット（Web）上でのCardMarket.jp（サテライトオフィス）でお問合せ・お見積り・資料請求・リモート相談（チャット）等を完結できるよう拡張し、東京支社の管轄で今年度中にリブランディングを図り、Web事業部化を目指し、BtoBに特化した競合他社にもない新しいサービスを創作し、新規販売代理店の開拓を中長期的に進めてまいります。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高が204,138千円と87,196千円（前年同期比29.9%減）の減収となり、営業損失は25,194千円（前年同期は4,642千円の営業利益）、経常損失は22,033千円（前年同期は8,236千円の経常利益）、四半期純損失は15,867千円（前年同期は727千円の四半期純利益）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第1四半期末の流動資産は、受取手形及び売掛金が85,121千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて78,769千円減少し1,698,326千円となりました。固定資産は、投資有価証券が8,563千円増加しましたが、機械及び装置が8,949千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて5,592千円減少し1,183,884千円となりました。この結果、資産は前事業年度末に比べて84,362千円減少し2,882,211千円となりました。

#### （負債）

当第1四半期末の流動負債は、支払手形及び買掛金が32,452千円、賞与引当金が12,000千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて52,205千円減少し251,559千円となりました。固定負債は、退職給付引当金が4,758千円増加しましたが、長期借入金13,998千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて8,780千円減少し331,307千円となりました。この結果、負債は前事業年度末に比べて60,986千円減少し582,867千円となりました。

#### （純資産）

当第1四半期末の純資産は、利益剰余金が30,118千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて23,376千円減少し2,299,344千円となりました。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,341,632	1,331,606
受取手形及び売掛金	308,207	223,085
電子記録債権	30,343	31,582
商品及び製品	52	52
仕掛品	33,910	40,392
原材料及び貯蔵品	64,428	64,632
その他	1,229	9,013
貸倒引当金	△2,708	△2,037
流動資産合計	1,777,096	1,698,326
固定資産		
有形固定資産		
建物	964,761	966,011
減価償却累計額	△753,613	△756,688
建物（純額）	211,147	209,323
機械及び装置	1,146,169	1,151,629
減価償却累計額	△890,219	△904,629
機械及び装置（純額）	255,949	247,000
土地	272,988	272,988
その他	179,013	179,363
減価償却累計額	△156,398	△158,744
その他（純額）	22,614	20,618
有形固定資産合計	762,700	749,930
無形固定資産		
その他	4,702	4,386
無形固定資産合計	4,702	4,386
投資その他の資産		
投資有価証券	133,428	141,991
保険積立金	189,649	190,101
繰延税金資産	95,809	94,288
その他	3,301	4,449
貸倒引当金	△114	△1,261
投資その他の資産合計	422,074	429,567
固定資産合計	1,189,477	1,183,884
資産合計	2,966,574	2,882,211

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	158,390	125,937
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	55,992	55,992
未払金	13,857	10,864
未払法人税等	12,337	1,623
賞与引当金	14,200	2,200
その他	38,988	44,942
流動負債合計	303,765	251,559
固定負債		
長期借入金	106,018	92,020
再評価に係る繰延税金負債	2,366	2,366
退職給付引当金	171,748	176,507
役員退職慰労引当金	59,033	59,491
資産除去債務	921	921
固定負債合計	340,088	331,307
負債合計	643,853	582,867
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	323,200	323,200
資本剰余金	100,600	100,600
利益剰余金	2,051,466	2,021,348
自己株式	△43,010	△43,010
株主資本合計	2,432,255	2,402,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,594	△23,852
土地再評価差額金	△78,940	△78,940
評価・換算差額等合計	△109,535	△102,792
純資産合計	2,322,720	2,299,344
負債純資産合計	2,966,574	2,882,211

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	291,335	204,138
売上原価	216,147	165,788
売上総利益	75,187	38,350
販売費及び一般管理費	70,545	63,544
営業利益又は営業損失（△）	4,642	△25,194
営業外収益		
受取利息	2,002	1,636
受取配当金	1,404	1,097
受取賃貸料	30	465
その他	427	191
営業外収益合計	3,863	3,390
営業外費用		
支払利息	197	185
その他	72	44
営業外費用合計	269	230
経常利益又は経常損失（△）	8,236	△22,033
特別利益		
投資有価証券売却益	269	-
特別利益合計	269	-
特別損失		
投資有価証券評価損	6,295	-
特別損失合計	6,295	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	2,210	△22,033
法人税等	1,483	△6,165
四半期純利益又は四半期純損失（△）	727	△15,867

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。